

日本企業マイクロデータの分析に関する帝国データバンクとの連携

- 平成30年4月に、「一橋大学経済学研究科・帝国データバンク 企業・経済高度実証研究センター」を設立(センター長:岡室博之経済学研究科長)
- 内外の研究者が帝国データバンクの持つ日本企業100万社のマイクロデータを用いて、日本の企業・産業・地域経済の動態に高度な実証研究を推進, 研究成果を国際発信

●具体的な共同研究内容

- ①帝国データバンクのデータ資産と人材を活用, 日本企業(中小企業・未上場企業を含む)を対象に, さまざまな産業・地域における企業行動, 産業や地域経済の構造変化等を, 企業の資本関係・取引関係や金融機関・行政との関係等を含めて長期的な視点から実証的に分析。研究対象とする企業行動には, 市場参入・退出, 多角化, 設備投資, 研究開発, 産業集積, 取引関係, 資金調達, 生産性・効率性等を含む。
- ②帝国データバンク史料館が保有する過去100年間にわたる企業アーカイブ・データを活用し, 長期的な企業成長や産業・経済発展の実証研究を行うことも視野に入れる。